

7つある安曇野市の国内友好（交流）都市。それぞれの友好（交流）都市の職員の方々に各自治体の魅力を紹介してもらいます。 固政策経営課都市交流係（☎71・2402 ㊟71・5155）



■江戸川区との友好の歴史■

江戸川区との交流は、旧穂高町が旧有明小学校跡地を江戸川区に譲渡したことが縁で始まり、昭和49年2月15日に友好都市盟約を結びました。昭和51年6月に同地に江戸川区立「穂高荘」がオープンし、相互訪問による交流事業が行われてきました。平成19年8月4日には安曇野市として友好都市提携を結び直し、江戸川区民まつり、江戸川区花火大会への参加やスポーツ交流などを通じて友好を深めています。



江戸川区立穂高荘

～誰もが安心して自分らしく暮らせるまち～



東京都 **江戸川区**

▶区 長	齊藤 猛
▶所在地	東京都江戸川区中央一丁目4番1号
▶人口・世帯数	698,724人・347,534世帯(8月1日現在)
▶面積	49,09平方キロメートル
▶特産品	小松菜・金魚
▶観光名所	葛西臨海公園



▶おすすめ観光スポット▶ 水と緑に恵まれた江戸川区「葛西臨海公園」

都内で唯一、海に面した広大な自然公園を有する江戸川区。「葛西臨海公園」には芝生公園や水族園、区立のホテル、日本最大級の大観覧車などがあり、いろいろな楽しみ方ができる区内最大の観光スポットです。昭和48年には国内の親水公園第1号として古川親水公園が誕生しました。江戸川区の公園の総面積は、23区ナンバーワン！水と緑の恵み豊かなまちです。

▶両市の交流事業▶ 江戸川区花火大会へのご招待 ▶

日本有数の観客動員数を誇る「江戸川区花火大会」に安曇野市の皆さんをご招待し、夜空を彩る美しい花火を鑑賞いただけます。間近で見る迫力満点の花火に、大人から子どもまで大興奮。参加した子どもたちからは、「迫力満点でとてもきれいだった」、「夏の忘れられない思い出になった」と、嬉しい感想をいただきました。江戸川区の魅力を体感できる交流事業のひとつです。



江戸川区花火大会



江戸川区役所の 岩崎さんと岡崎さんが、安曇野市の素敵なおとこ & 江戸川区のココが自慢☆を紹介！

【安曇野市の素敵なおとこ】安曇野市に都市交流事業で何うと、心も体も潤い、日常の疲れが吹き飛ばされます。

【江戸川区のココが自慢☆】江戸川区のおすすめスポットのひとつ「行船公園」は、公園内にある季節の美しい花々と緑が池を囲む「平成庭園」や、ワラビーなど約60種の動物と出会える「自然動物園」で、憩いのひとときを楽しめます。区のシンボル「タワーホール船堀」もおすすめです。高さ115mから360°の大パノラマが楽しめる展望室は、なんと無料！都心のビル群を楽しんだあとは、地下の映画館で映画鑑賞もできますよ。

江戸川区にお越しの際は、ぜひお立ち寄りください！

江戸川区役所都市戦略課都市交流係
岩崎英之さん 岡崎里奈さん

市政トピックス

■地域見守り活動連携協定 新たに4団体

市は8月21日、株式会社デリシア・第一生命保険株式会社松本支社・NTPトヨタ信州株式会社穂高店・株式会社長野銀行豊科支店の4団体と、高齢者・障がい者の「安曇野市地域見守り活動に関する連携協定」を締結しました。これまでの締結を含め、市内24団体と協定が結ば

れました。この協定は、協定者が日常業務を行う中で、高齢者等の事故防止や徘徊時の発見等に努め、見守り活動を行うものです。市は、協定者から異変察知の連絡を受けた場合には、安否確認のほか関係機関と連携して適切な支援を行います。



■災害時の食品等の供給戸田フーズと協定締結

市は8月24日、コンビニエンスストアの弁当や総菜などを製造している戸田フーズ株式会社と「災害時における食品等の供給協力に関する協定」を締結しました。この協定により、災害時に食品等の調達が必要となった場合に、弁当やサンドイッチなどの食料を同社に要請できる

ようになります。宮澤市長は「避難生活中のバランスのとれた食事の提供は課題。おいしい食事は元気の源にもなり、心強い」と感謝を述べました。市では今後も、食料の確保をはじめ、災害時の体制強化を図っていきます。



スミソニアン博物館が飯沼飛行士の偉業に注目！

豊科生まれの飛行士飯沼正明(1912～1941年)は、昭和12年、機関士の塚越賢爾とともに、純国産機「神風号」で東京～ロンドン間15,357kmを94時間17分56秒で飛行する世界記録を樹立しました。このことは、当時、欧州各国から勲章が授与されるなど世界中から賞賛されました。

そして、80年以上経った本年、再びこの偉業に光が当てられました。19の博物館等からなるスミソニアン博物館(アメリカ)の一施設「国立航空宇宙博物館」が、飯沼飛行士の業績を取り上げました。同館が発行する『AIR&SPACE』誌の8月号において、世界の長距離飛行についての特集が生まれ、その中の偉業の一つとして飯沼飛行士の業績をあげています。「日本のリンドバーク」と称賛し、世界記録樹立がいかんして達成されたのか、写真とともに解説しています。

調査に協力した遺族の飯沼成昭さんは「安曇野や家族を愛した人と聞いています。広く知ってもらえる機会となり光栄です」と語っています。飯沼正明の業績は、飯沼飛行士記念館でも紹介しています。この機会にぜひお出掛けください。

